

学校だより 前期学校評価号

豊かな心の育成

「友だちと仲良くする」「きまりや約束を守る」については、児童・保護者・教職員の三者とも **A+B評価** が高くなっています。

一方、「あいさつ」「正しい言葉」「物を大切に」については、児童の評価と保護者・教職員の評価の間に差が見られ、児童にはできているつもりでも、大人から見ると満足できないものであることが伺えます。学校でも、家庭でも同じように声かけや励ましを続けていく必要を感じます。

学校目標である、「磨き合い 喜び合える葵校」を達成していくための基盤となる「児童が自信をもつ」ことに関しては、**A+B評価** が7割台にとどまり、他の項目に比べて評価が低いことが分かります。普段から、学校でも、家庭でも、児童のがんばっていることを認めて褒めたり、成功体験を積み重ねることができるようになり、個々の児童が自信を持って日々を過ごせるようにしていくことが大切です。

◆改善に向けて◆

あいさつ・言葉づかい…気持ちの良いあいさつをしたり、正しい言葉づかいで話したりすることが大切である意味を学年に応じて指導し、計画委員会が挨拶運動の取組を発表しました実践できるように声かけを行う。また、周りの大人が先ずしっかりと手本を示すようにする。

自信をもつ…教職員は個々の児童理解を深め、児童のあるがままの姿やがんばりを認めて、温かいプラスの声かけができるようにする。また、教室環境を整え、児童が落ち着いて過ごせるようにしていく。

豊かな心

		A+B	C+D
自信をもつ	児童	76	24
	保護者	79	21
	教職員	76	24
気持ちの良いあいさつ	児童	95	5
	保護者	78	22
	教職員	71	29
友だちと仲良くする	児童	97	3
	保護者	95	5
	教職員	100	0
正しい言葉づかい	児童	87	13
	保護者	71	29
	教職員	59	41
きまりや約束を守る	児童	94	6
	保護者	92	8
	教職員	100	0
物を大切にする	児童	94	6
	保護者	74	26
	教職員	65	35



健やかな体の育成

安全に対する児童の意識は非常に高く、**A+B評価** が95%となっています。基本的な生活習慣については、高学年になるにつれ、下降傾向にはありますが、長期休業後の生活調べなどからも、おおむね良い状況が達成できているようです。朝に行う陸上部の取組により、早起きの習慣がついたという声も寄せられました。

体を動かすことについても、学年があがるにつれ、下降傾向がみられます。委員会活動などがあり、休み時間に遊ぶ時間が減っていることや、放課後学校に残って遊ぶ時間が減ってきていることなども原因として考えられます。

◆改善に向けて◆

基本的な生活習慣…長期休業のあとなどに行う生活調査を続け、児童の様子を見ていくとともに、特に高学年において、保健指導などで規則正しい生活習慣の大切さを指導する。

健やかな体

		A+B	C+D
安全に留意	児童	95	5
	保護者	87	13
	教職員	100	0
基本的な生活習慣	児童	84	16
	保護者	82	18
	教職員	76	24
体を動かす	児童	86	14
	保護者	71	29
	教職員	94	6

家庭と学校の連携

さまざまな学校の取組に対して、保護者・地域の皆様にご理解とご協力をいただいています。家庭で学校や友達のことを話すご家庭も、前年度同期より2ポイント増と微増しており、児童の評価とも調和しています。学校からの情報発信については、保護者のみなさまより非常に高い評価をいただいています。

今後も、おたよりやホームページなどで、学校の様子を素早く正確にお伝えしていくようにいたします。

分かりやすい授業については、本紙表面の **確かな学力の育成** の項でも述べておりますように、課題もはっきりとしてきました。更なる授業改善に取り組んで参ります。

連携

		A+B	C+D
学校のことを話す	児童	87	13
	保護者	88	12
	教職員		
学校・担任との連携	保護者	91	9
	教職員	88	12
学校からの情報発信	保護者	98	2
	教職員	76	24
学校は人権を守る	保護者	98	2
	教職員	100	0
分かりやすい授業	児童	85	15
	保護者	97	3
	教職員	88	12

※ポイント…昨年度の%値との比較です。